

第6回

タネ屋&農園
&マルシェ

鈴木光一の

タキイ品種レビュー 2019 秋

鈴木農場・伊東種苗店 店主 **鈴木 光一**

私は、福島県郡山市で現在まで30年間、野菜の直売所を経営してきました。また、縁あって平成8年より種苗店も兼営することになり直売所とタネ屋の両面から農業を考えるようになりました。日本農業が進む方向性の一つは、本当にお客さまが欲しいと思える「価値のある商品づくり」をしていくことだと感じています。そのためにも、野菜の品種選びをしっかりと行いましょう。



最近、講演会の依頼の中で特に多いのが「ブランド野菜づくり」に関する内容です。直売所や道の駅、そしてスーパーのインショップなどが増え、農家が自分の名前で販売できる機会が増えてきました。そして新鮮・安全・安心の中で、農家間で切磋琢磨した商品が並ぶことがその直売所の魅力でした。しかしより地域性を打ち出すために「地域の「直売所」共通したブランド野菜が求められるようになったのだと思います。地域の食文化や歴史の中からつくられた「ブランド野菜」と、未来に向けた、そこならではの「新しいブランド野菜」づくりというの也需要とされているのだと思います。ブランド化においては、「おいしさ」「栄養価」「個性」のある品種が大切です。そしてその選定はとても重要だと思います。それらも含めてタキイさんの秋冬品種から直売所販売で注目のものを紹介してみます。



↑ 筆者が仲間とともに作り上げてきた「郡山ブランド野菜」。郡山の未来に向けた野菜作りだ。

タマネギ

「ケルたま」

ファイトリッチシリーズの「ケルたま」。機能性成分ケルセチンを多く含み、濃赤褐色のつやのある姿が特長。



いち推しの理由

タマネギは年間を通して消費される、なくてはならない品目です。ずっと販売ができて、おいしくて、栄養価も高い。見た目も皮色がとても濃くてきれいという、そんな夢のようなタマネギが「ケルたま」です。私の住む郡山では、収穫翌年の4月上旬まで芽が出ません。調理では、加熱した後の甘さがほかの品種の中でも群を抜いています。ケルセチンというポリフェノール成分が多く、赤茶色のルックスもかっこいいです。

栽培性

栽培上は、晩生種なので通常の中晩生種の栽培に準じて作付けを行ってください。生育中は、他の品種に比較して葉が立性なのでとても管理が容易です。収穫時期は、翌年の6月下旬から7月上旬になります。皮色をよくし保存性を高めるためにしっかりと乾燥させることがとても重要なポイントになります。

販売のヒント

ケルセチンは活性酸素の働きを抑え、高い抗酸化作用を持っています。健康と美容にもよい機能性成分です。タキイの「ファイトリッチ」シリーズの一つです。「タマネギを食べて元気でキレイになろう」がこのタマネギのキャッチです。加熱して食べることが一番のおすすめなのでスープや煮物、炒め物などでその甘さ、おいしさが際立つことを伝えてください。

カブ

「スワン」

やわらかで甘みがあるサラダカブ「スワン」。小カブから中大カブまで随時どりでできる。



いち推しの理由

カブは秋冬直売所野菜の中でもおいしさで差別化できるとも大切な品目です。タキイさんの「スワン」は、サラダで使える生食可能なカブで、やわらかで舌ざわりがよく、甘みがあります。「サラダカブ」としてお客さんに驚きを届けることのできる品種です。

栽培性

適期栽培であればスムーズに生育します。小カブから中カブ、大カブまで収穫可能なすぐれた特性があります。小カブであれば12cm、中・大カブであれば20cm株間で栽培します。大きくなった順に販売しやすい大ききで順次収穫できますし、在園期間が長いのも直売では有利です。少し寒さにあててからだと糖度もアップします。

販売のヒント

食べ比べてもらい、やわらかさ、滑らかさ、甘さをセールスポイントにします。レストランでは、スライスしてオリーブオイルと塩を振りかけただけでおしゃれな一品になります。直売所では、生で、浅漬での試食販売をおすすめします。人気の「サラダカブ」として販売してください。

ハウレンソウ

「福兵衛」

べと病に強い秋・春どり早生種「福兵衛」。葉色も濃く見た目もよく、作業性にもすぐれる。



いち推しの理由

直販農家にとって大切なことのひとつに畑の回転率をあげることがあります。決められた面積を作付回数で有効利用するためです。ハウレンソウは、短期間で生育するだけでなく秋冬の人気野菜なので、ぜひ作付けに入れたい品目です。求められている品種は、早生性で病気に強く作業性のよいものです。「福兵衛」は、その立性、早生性、耐病性にすぐれているだけでなく、食味、葉色も濃く見た目もよいおすすめの商品です。

栽培性

「福兵衛」は、播種期が秋から翌年の春までとても長いのが特長です。いわゆるハウレンソウの栽培適期にその強みを発揮できる品種です。発芽までは、適宜灌水を行い、発芽をしっかりとそろえることが一番のポイントです。葉は、立性でしなやかで収穫、袋詰めが容易にできます。

販売のヒント

秋から冬にかけてハウレンソウが一番求められているときに出荷できる品種です。葉が肉厚で重量感があり葉のテリもよく、見た目からおいしさが伝わる新定番となるハウレンソウです。

ニンジン

「京くれない」

鮮やかな赤色のニンジン「京くれない」。リコピン・カロテンの両方を多く含む。



いち推しの理由

ニンジンでのいち押しは、こちらも「ファイトリッチ」シリーズの一つ「京くれない」です。金時ニンジン特有の甘さ、味の濃さをもっているのが魅力です。見た目も金時ニンジンほど長くなく、鮮紅色でテリがありとても形のよききれいなニンジンです。機能性成分も多く含み、金時ニンジンのリコピンと西洋ニンジンのカロテンの両方を多く含んでいます。ニンジン本来の味を感じることでできる私の直売所でも人気の商品です。

栽培性

栽培に関しては、五寸ニンジンに準じて作ります。畑の水分を十分に確保して発芽させます。その後株間10cmほどにそろえることが最初の大事なポイントです。肥料をバランスよく効かせることも大事で、皮色のをせるためにも追肥は生育中期、後期に分けて行います。また、肩が地上部に出やすい品種なので寒くなる前に土寄せをしっかりとすることも忘れないでください。発芽をそろえること、追肥をすること、土寄せすることがポイントです。

販売のヒント

「京くれない」は、ニンジンの色つやをただただでほかの品種との違いがわかります。合わせて味、栄養価の高さをしっかりとピーアールできれば人気の冬期限定のブランドになれる品種です。試食では、生のスティックだけでなく生しぼりジュースでお客さまのハートをしっかりとつかんでください。

赤丸二十日ダイコン

「ニューコメット」



「ニューコメット」はプランターやセルトレイで栽培し、そのままディスプレイして販売するのもおもしろい。



いち推しの理由

料理やサラダの添え物でかわいい野菜にラディッシュがあります。カラフルな彩り野菜は直売所でも目を引く人気野菜です。小さい面積で、短期間でできるラディッシュは直販農家にとっても魅力ある品目です。そのラディッシュの品種選択で一番のポイントは作りやすさです。小さいがゆえに畑や気候、周りの環境の影響を受けやすく、安定した品質で作れるかが大事なのです。「ニューコメット」はそれらの問題に応える新しいラディッシュです。

栽培性

栽培適期では20日程度で収穫期を迎えます。そろいがよく葉がとてもコンパクトに仕上がります。裂根も少なく病気にも強い品種です。極端な乾燥・過湿にならないよう適度な水分管理を行いスムーズに生育させることがポイントです。

販売のヒント

ニューコメットは、プランターや50穴、72穴セルトレイでも栽培が可能です。私は、マルシェのディスプレイ用としてこれらを作ります。これらはお客さんの目を引くこと間違いなしです。また、セルトレイで作ったものはお客さんの欲しい分だけトレイを切って販売もしました。根色の赤とコンパクトな葉の緑のバランスが特長のラディッシュです。